



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	116,582	6.3	4,394	36.8	4,703	54.4	3,516	13.0
29年3月期第2四半期	109,659	△10.8	3,212	△23.4	3,045	△31.2	3,111	5.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,095百万円 (524.0%) 29年3月期第2四半期 656百万円 (△67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	128.16	—
29年3月期第2四半期	110.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	127,204	69,006	54.2
29年3月期	125,751	65,932	52.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 68,935百万円 29年3月期 65,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

29年3月期 中間配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当 5円00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当15円00銭

30年3月期 中間配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当 5円00銭

配当予想の修正については、本日（平成29年11月8日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	2.1	7,500	9.0	8,200	11.7	6,300	△9.7	229.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	28,702,118株	29年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,267,060株	29年3月期	1,266,468株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	27,435,430株	29年3月期2Q	28,255,145株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成29年11月30日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコン市場や遊技機器市場は低迷が続くものの、スマートフォン市場やエレクトロニクス化が進む車載関連市場が堅調に推移しIoT^(注1)、ビッグデータ、人工知能などの新しい技術の関連市場も活発な動きが見られるなど好調に推移いたしました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」を経営理念とし、既存大手顧客への拡販活動や海外におけるEMS^(注2)ビジネスの拡大に注力してまいりました。

その結果、第2四半期連結累計期間における売上高は116,582百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は4,394百万円（前年同四半期比36.8%増）、経常利益は4,703百万円（前年同四半期比54.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,516百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

(注1) Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

(注2) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、電子機器向けEMSビジネスや半導体の販売などが好調に推移いたしました。その結果、売上高は85,918百万円（前年同四半期比3.8%増）となり、セグメント利益は2,893百万円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、住宅向けおよび商業施設向け関連商材が好調に推移し、パソコンの販売も回復いたしました。その結果、売上高は23,446百万円（前年同四半期比14.2%増）となり、セグメント利益は1,116百万円（前年同四半期比107.0%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、VR^(注3)やAR^(注4)など新規分野の開発に取り組みましたが、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などの受注が低迷いたしました。その結果、売上高は1,142百万円（前年同四半期比20.8%減）、セグメント利益は111百万円（前年同四半期比63.6%減）となりました。

(注3) Virtual Realityの略語。仮想現実。

(注4) Augmented Realityの略語。拡張現実。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は6,075百万円（前年同四半期比23.8%増）となり、セグメント利益は198百万円（前年同四半期はセグメント損失57百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、127,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,452百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債につきましては、58,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,622百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、69,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,074百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物につきましては、29,387百万円（前連結会計年度末比3,365百万円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,875百万円の収入（前年同四半期は7,723百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,345百万円の支出（前年同四半期は246百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,265百万円の支出（前年同四半期は2,253百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払および長期借入金の返済によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月25日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,423	30,393
受取手形及び売掛金	46,774	45,860
電子記録債権	5,234	4,164
有価証券	188	175
商品及び製品	14,675	14,253
仕掛品	365	644
原材料及び貯蔵品	4,284	4,238
繰延税金資産	1,340	1,059
その他	4,562	3,612
貸倒引当金	△166	△164
流動資産合計	103,684	104,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,859	4,849
機械装置及び運搬具(純額)	2,014	2,168
工具、器具及び備品(純額)	742	751
土地	4,126	4,036
建設仮勘定	3	194
有形固定資産合計	11,745	11,999
無形固定資産		
のれん	406	361
ソフトウェア	363	328
その他	71	64
無形固定資産合計	841	754
投資その他の資産		
投資有価証券	6,761	7,563
繰延税金資産	240	223
差入保証金	735	681
保険積立金	936	944
その他	1,529	1,385
貸倒引当金	△723	△586
投資その他の資産合計	9,479	10,211
固定資産合計	22,067	22,966
資産合計	125,751	127,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,553	35,512
短期借入金	4,883	5,455
未払費用	3,387	3,402
未払法人税等	888	911
役員賞与引当金	204	139
その他	3,325	3,551
流動負債合計	50,242	48,972
固定負債		
長期借入金	4,603	3,804
繰延税金負債	1,213	1,697
役員退職慰労引当金	1,222	1,241
退職給付に係る負債	1,669	1,634
資産除去債務	144	168
その他	723	678
固定負債合計	9,576	9,224
負債合計	59,819	58,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,853
利益剰余金	40,476	43,032
自己株式	△2,040	△2,041
株主資本合計	64,481	66,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	1,466
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	421	642
退職給付に係る調整累計額	△190	△150
その他の包括利益累計額合計	1,391	1,958
非支配株主持分	59	71
純資産合計	65,932	69,006
負債純資産合計	125,751	127,204

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	109,659	116,582
売上原価	94,486	100,363
売上総利益	15,172	16,218
販売費及び一般管理費	11,959	11,824
営業利益	3,212	4,394
営業外収益		
受取利息	24	49
受取配当金	71	82
受取手数料	114	100
為替差益	—	21
その他	124	146
営業外収益合計	335	401
営業外費用		
支払利息	66	60
為替差損	415	—
その他	20	32
営業外費用合計	502	92
経常利益	3,045	4,703
特別利益		
固定資産売却益	13	21
投資有価証券売却益	2	518
事業譲渡益	89	12
特別利益合計	105	552
特別損失		
固定資産除却損	6	8
投資有価証券売却損	31	—
投資有価証券評価損	—	111
事業構造改善費用	11	—
ゴルフ会員権評価損	11	3
減損損失	—	219
その他	0	0
特別損失合計	60	343
税金等調整前四半期純利益	3,090	4,913
法人税、住民税及び事業税	688	756
法人税等調整額	△717	628
法人税等合計	△29	1,385
四半期純利益	3,119	3,527
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,111	3,516
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	11
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	307
繰延ヘッジ損益	△11	△0
為替換算調整勘定	△2,360	220
退職給付に係る調整額	43	40
その他の包括利益合計	△2,462	568
四半期包括利益	656	4,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	649	4,083
非支配株主に係る四半期包括利益	6	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,090	4,913
減価償却費	743	694
減損損失	—	219
のれん償却額	44	44
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△61
受取利息及び受取配当金	△96	△132
支払利息	66	60
投資有価証券売却損益 (△は益)	28	△518
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	111
売上債権の増減額 (△は増加)	5,320	2,061
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,108	289
未収入金の増減額 (△は増加)	△33	1,105
前渡金の増減額 (△は増加)	115	△300
仕入債務の増減額 (△は減少)	759	△2,205
未払費用の増減額 (△は減少)	△44	△20
未収消費税等の増減額 (△は増加)	173	171
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	67	△26
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△442	107
その他	△117	△39
小計	8,552	6,493
利息及び配当金の受取額	96	130
利息の支払額	△65	△59
法人税等の支払額	△852	△688
その他	△6	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,723	5,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△301	△1,057
定期預金の払戻による収入	503	463
有形固定資産の取得による支出	△535	△835
有形固定資産の売却による収入	93	86
無形固定資産の取得による支出	△71	△76
投資有価証券の取得による支出	△149	△1,000
投資有価証券の売却による収入	175	1,058
短期貸付けによる支出	△1	—
保険積立金の解約による収入	2	—
差入保証金の差入による支出	△5	△41
差入保証金の回収による収入	15	95
その他の支出	△42	△42
その他の収入	67	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△1,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△476	665
長期借入金の返済による支出	△714	△896
配当金の支払額	△987	△958
その他	△74	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,253	△1,265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,419	101
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,804	3,365
現金及び現金同等物の期首残高	21,879	26,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,683	29,387

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,784	20,524	1,442	4,909	109,659	—	109,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	511	261	1,041	1,584	3,399	△3,399	—
計	83,295	20,786	2,483	6,493	113,059	△3,399	109,659
セグメント利益又は 損失(△)	2,366	539	307	△57	3,156	56	3,212

(注)1. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去56百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	85,918	23,446	1,142	6,075	116,582	—	116,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	593	503	463	336	1,896	△1,896	—
計	86,511	23,949	1,605	6,412	118,479	△1,896	116,582
セグメント利益	2,893	1,116	111	198	4,319	74	4,394

(注)1. セグメント利益の調整額74百万円には、セグメント間取引消去74百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。